



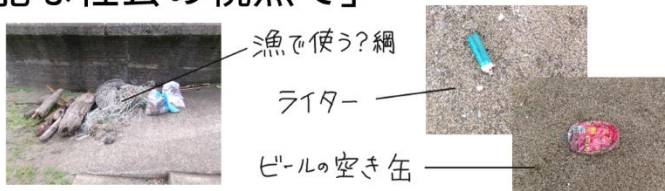
豊浦地区海岸清掃から学ぶSDGs

SDGs海岸清掃の活動では、プラスチックごみやペットボトルのキャップ、ビニール、縄などのごみが多く見られました。また、外国語表記の容器や大きな漂着物もあり、海岸のごみにはポイ捨てされたものだけでなく、海を通じて流れ着いたものも含まれていることが分かりました。

活動を通して、生徒たちは砂に埋もれた小さなごみを見つけて拾うことの大切さや、ごみによるけがの危険性について学びました。さらに、プラスチックごみが海の生き物や人々の生活・健康に影響を及ぼす可能性があることにも気付きました。

<子供たちの作成したレポートから>

写真と説明「海岸のごみから・・・海岸保全、生活の在り方、持続可能な社会の視点で」



ライターや空き缶などは流されてきたのか、捨てたのかかわかんないけど、どっちにしろ捨ててることに間違いはないから、使った後のごみは持ち帰って、さらに落ちているごみを拾うと、一番いいと思った。

由良の海には、韓国や中国などから流れきたプラスチックの容器や看板などがありました。また、たくさんあるゴミの中でペットボトルのキャップやマイクロプラスチックなどのゴミが特に多かったです。



これからは、海岸をきれいにするためにゴミの分別やプラスチックのリサイクルを心がけたり買い物の時にエコバックを持っていたりするなど自分にできることをしたいと思いました。



写真と説明「海岸のごみから・・・海岸保全、生活の在り方、持続可能な社会の視点で」

砂浜には縄やビニール、プラスチックなどのごみが落ちており、中には砂に埋まっているものもあった。流木や砂に埋まったごみを踏んでしまうとけがをする危険があると思った。また、プラスチックごみが波に流されると、それを魚が食べ、その魚を私たちが食べることで健康に影響を及ぼす可能性があるため、危険だと思った。



写真と説明「海岸のごみから・・・海岸保全、生活の在り方、持続可能な社会の視点で」

コンテナからクーラーボックスのような大きいゴミも海岸にあったし私が拾っただけでもライターは3つくらいあってプラスチックが多かったので、私はやっていないけどポイ捨てなどは少なくともあると思うからポイ捨てなどをなくす工夫とかした方がいいなと思ったし、足に刺さると痛いからこれからもゴミ拾いなどしていきたいと思いました。

海岸清掃活動では、多くのプラスチックごみや漂着物を回収しました。活動を通して、生徒たちは海洋ごみが自然環境や私たちの生活に与える影響を学び、ごみを減らすためには一人一人の行動が大切であることを実感しました。今後ともごみの分別や清掃活動への参加など、身近なところから環境保全に取り組んでいきます。保護者の皆様には、雨具等の準備や送迎など、様々配慮いただき大変ありがとうございました。